

令和4年度

事業報告書

公益財団法人 静岡産業振興協会

# 目 次

<b>&lt;総括&gt;</b>	<b>1</b>
<b>1 公益目的事業</b>	<b>5</b>
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	5
① 展示場及び会議室等の貸与	5
(2) 地場産業支援事業	7
① 新製品、新技術支援及びデザイン開発支援事業	7
② 人材養成、人材確保推進事業	9
③ 「産業フェアしずおか」開催事業	12
(3) 都市型産業支援事業	14
① 創業者支援事業	14
② マーケティング支援事業	18
③ 産学連携事業	21
④ 情報提供事業	23
⑤ 施設提供事業	24
(4) 静岡市中小企業支援センター事業	25
① 窓口相談等事業	25
② 専門家派遣事業	26
③ 新連携・地域資源活用プログラム等、利用支援事業	26
④ 中小企業等販路開拓支援事業	26
⑤ 制度融資関連事務	27
<b>2 収益事業（ツインメッセ静岡）</b>	<b>29</b>
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	29
① 展示場及び会議室等の貸与	29
② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業	30
<b>3 公益と収益に共通する事業</b>	<b>31</b>
(1) 利用促進事業（ツインメッセ静岡）	31
(2) 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）	32
(3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）	33
<b>4 組織づくり・人材づくりへの取組</b>	<b>35</b>
(1) 組織内の人材育成	35
(2) 組織内の内部統制	35
<b>5 理事会・評議員会</b>	<b>36</b>
(1) 理事会	36
(2) 評議員会	37
<b>参考資料</b>	
◇ 展示場の利用状況	38
◇ 会議室の利用状況	41
◇ 年間来場者数	41
◇ 組織構成	42

## <総括>

当協会が策定した第1次中期経営計画（2019年度～2022年度）は、今年度で最終年度になった。計画に掲げた目標の達成に向けて、静岡産業支援センター（ツインメッセ静岡）では「ツインメッセ静岡貸館事業」及び「地場産業支援事業」を、静岡市産学交流センターでは「都市型産業支援事業」及び「中小企業支援センター事業」を実施し、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の第7波及び第8波の影響やLNG輸入価格の上昇による電気・ガス料金の高騰により一部目標の未達成があったが、全体では概ね計画どおりに実施することができた。

ツインメッセ静岡の貸館事業では、南館大規模改修のため約1年間の利用停止を余儀なくされたが、利用顧客に対しては北館大展示場や各小展示場への移動や日程変更を依頼して、影響を最小限に留めるよう努力した。新型コロナの影響は多少あったものの多くの催事は通常どおり開催された。

地場産業支援事業では、伝統工芸技術保存講習会において、本年度も全国規模の展覧会への挑戦者を輩出した。令和4年度目標である3点出品には及ばなかったが、第1次中期経営計画期間である4年間で5点を出品することができ、受講生のモチベーションアップにつながっている。

また、「産業フェアしずおか」は南館大規模改修の影響の中、北館大展示場をメイン会場とし、各小展示場を活用するなど創意・工夫を凝らし、体験コーナーの充実や中部横断道エリア物産展の拡充を図り、従来と変わらぬ賑わいのあるフェアが開催でき、アンケート結果でも来場者や出展者から高い評価を得ることができた。

産学交流センターでは、各種講座等の実施にあたり、前年度に引き続きライブ配信や録画配信などのオンライン方式を中心に展開した。ただし、参加者間の対話が必要なシリーズ物やワークショップなどでは、極力対面の機会を設け、対面とオンライン方式を組み合わせたハイブリッド方式を活用することで、新たな事業運営のノウハウ習得につながった。

また、市の補正予算による補助金の増額により、窓口相談や専門家派遣事業を充実させた。さらに、ニーズの高まるWEB相談に应付するため、IT相談員を新たに設置し、土曜日をWEBマーケティングに係る相談日とした。

なお、第1次中期経営計画の年度計画における実績の主なものは、次表のとおりである。

第1次中期経営計画の年度計画における実績の主なもの

	令和4年度計画	実績（※評価）	説明等
ツインメッセ静岡の活用			
1	小展示場の利用率 40%以上	38.2%  (○)	コロナ禍からの回復の兆しが見えたほか南館大展示場から小展示場への利用施設の移動など、前年度の28.6%から9.6ポイント上昇した。
地場産業支援			
2	全国規模の展覧会 へ3点出展	1点  (△)	目標値3点には届かなかったが、経営計画年度中に合計5点の出品と2点の入賞を果たすことができた。
3	「産業フェアしずおか」への新規地場産業出展者の確保1者	新規地場産業出展者 1者  (◎)	経営計画年度中の4年間で5者の増加を目標としていたが、結果的に15者確保することができた。
都市型産業支援			
4	下記3項目の合計 数35件以上 ・新規創業者数 ・新商品開発 ・新事業進出 (清水産業・情報プラザ35件以上、 合計70件以上)	新規創業者数 29件 新商品開発 11件 新事業進出 0件 <u>計 40件</u> (◎) (清水産業・情報プラザでは新規創業者数39件、 合計79件)	窓口相談を中心に新規創業者数は順調に推移したが、新型コロナの影響で、新事業進出の実績はなかった。
5	産学共同研究委託 事業における製品 化件数2件以上	2件  (◎)	令和2年度委託分1件と令和元、2、4年度委託分1件が製品化された。
ツインメッセ静岡の老朽化、耐震対策			
6	南館耐震補強・大規模改修工事の完了	・令和4年2月18日 工事請負契約締結 ・6月1日 現場着手 ・令和5年4月18日 完成検査実施予定  (○)	令和5年4月28日に工事目的物の引渡し予定。

	令和4年度計画	実績（※評価）	説明等
南館大規模改修時のツインメッセ静岡貸館対策			
7	北館大展示場稼働率70%	57.1% (△)	年度当初の時点では順調に稼働していたが、新型コロナの影響を受けた。しかし平常時の北館利用率（50%弱）よりは上回っており、日程調整等による一定の成果はあった。
南館大規模改修の財源確保			
8	南館大規模改修の財源の確保	実施設計及び工事費の全額を静岡市出資金により確保 (◎)	令和4年度は、工事の前払金及び中間出来形部分払について、静岡市出資金を財源として支出した。
財政基盤の強化と健全な財政運営			
9	基本財産収入（ツインメッセ静岡） 3億4,000万円以上	貸館収入 2億7,259万円 駐車場収入 3,606万円 計 3億865万円 (○)	南館大規模改修に伴い、南館大展示場を1年間休館することを見込んだ計画としたが、新型コロナの影響も残りやや目標額には届かなかった。
10	ツインメッセ静岡の管理費支出額 （大型修繕及び退職給付支出を除く） 3億1,000万円以下	3億1,216万円 (○)	令和4年度も新型コロナを考慮した当初予算を編成したが、電気・ガス料金の上昇により、光熱費の負担が大幅に増額となったため、わずかに目標額には届かなかった。 光熱費前年度対比 3年度実績 4,126万円 4年度実績 6,134万円 差引 2,008万円 (48.7%増)
11	産学交流センターの施設使用料 2,300万円以上	2,268万円 (○)	市による大会議室の連続使用（通年）もあり、コロナ禍前（※）の金額を超えるまでに回復した。 ※平成31年度 2,036万円 令和2年度 1,877万円 令和3年度 2,096万円

	令和4年度計画	実績（※評価）	説明等
組織づくり・人材づくり			
12	令和4年度分の規程等の見直し完了	静岡産業支援センターの設置及び管理に関する規程、静岡産業支援センター有料駐車場管理規程の改正を実施  (○)	予定した規程等の見直しに着手したが、一部を翌年以降に継続して検討することとした。

※評価の表示

◎＝達成（100%以上） ○＝ほぼ達成（90%以上） △＝未達成（90%未満）

## 1 公益目的事業

### (1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

#### ① 展示場及び会議室等の貸与

地域産業の経済活動支援や人材育成事業など、公益を目的とした事業のため、地場産業団体、地元中小企業や国、県、市などの行政機関に展示場及び会議室を貸与し、地元中小企業の振興に寄与した。

本年度は、南館大規模改修のため南館大展示場が約1年間利用停止を余儀なくされやむなく利用は制限されたが、「TGCしずおか 2023 by TOKYO GIRLS COLLECTION」が3年ぶり開催されたほか、「第16回法人会全国女性フォーラム」「第72回全国建築板金業者静岡大会」と全国大会が2件開催されるなど、全国から人が集まる催事も開催されMICEの中核施設としての役割を果たした。

通常のBtoB展示会も徐々に戻りつつあり5月には「静岡ホビーショー」が4年ぶりにフルサイズで開催されたほか、3月には工作機械、産業機器等の見本市である「第43回 静岡どてらい市」も4年ぶりに開催することができた。

徐々にではあるが展示会・イベント業界がウィズコロナ・アフターコロナのフェーズに移行してきた事を感じさせた。

展示場における公益目的の催事件数は135件で、新型コロナ以前の水準には達していないものの、前年度の112件と比較して23件の増加となった。また、収入額から算出される公益目的事業比率は74.7%であった。

#### <主な展示場利用> ※地場産業団体、一般企業等の利用

催事名	使用期間
第16回法人会全国女性フォーラム	4/12～14
令和4年 静岡県保育士試験 筆記試験 前期・後期	4/22～24、10/21～23
第60回静岡ホビーショー	5/11～15
第72回全国建築板金業者 静岡大会	5/18～19
シズオカ [KAGU] メッセ2022	5/30～6/6
静岡優良ツキ板展示大会（第67回）	9/13～15
しんきんフェア静岡2022	10/4～5
令和4年度 2級土木施行管理技術検定	10/22～23
ホビーのまちクリスマスフェスタ2022	12/1～4
TGCしずおか2023 by TOKYO GIRLS COLLECTION	1/11～15
全天連50周年記念第37回全国優良ツキ板展示大会	3/7～9
第43回静岡どてらい市	3/13～19

●国、県、市が民間へ委託した事業は、ここに分類した。



静岡ホビーショーの小中高生招待日では子供たちがプラモデル体験に夢中になった。



全国建築板金業者 静岡大会は新型コロナウイルスの影響で3年の延期を経ての開催であった。

### ※国、県、市等の利用

催事名	使用期間
静岡市新型コロナワクチン集団接種会場	4/1～5/5 (9日間)
登録販売者試験 (一般用医薬品販売の国家資格試験)	9/6～7
令和4年度 静岡市職員採用試験	9/24～25
SDGs COLLECTION supported by TGCしずおか2023	1/13～14
令和4年分静岡・清水税務署合同確定申告	2/6～3/16



南館大規模改修の影響で西館第1・第2小展示場で確定申告を開催した。  
※写真は屋外に設置した申告者受付ブース。

(2) 地場産業支援事業

① 新製品、新技術支援及びデザイン開発支援事業

<ニューウェーブ「しずおか」創造事業>

地元製造業者の新商品開発へのチャレンジを支援するため、地元製造業者とデザイナーとのマッチングを行い、デザインの力を活用した新商品開発を行った。

この開発商品は、令和5年2月の「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DEGIN」で展示発表した。ギフトショーは令和5年1月にイベント開催制限が見直されたことにより、前年の約1.6倍の来場者があり、開発製品の完成度の高さとの相乗効果で、受注や具体的な商談が多く、有意義な出展になった。

また、新規事業参加者も本年度は5社を数え、第1次中期経営計画において合計14社の新規事業者が新商品開発に取り組むこととなった。

一方で、開発商品と開発メーカーの社会的価値の向上を目的としたGマーク（グッドデザイン賞）取得支援においては、制度を利用した1者がGマーク取得に向け挑戦したが、取得には至らなかった。



製造メーカー、プロデューサー、デザイナーのコラボにより開発した商品が展示された。  
(ギフトショーブース)

【令和4年度開発商品】

※ 上段：参加企業  
×  
下段：参加デザイナー



市川製箱業  
×  
Kouten Design Studio



(株) iwakagu  
×  
RYOSUKE FUKUSADA



(株) S スズキ技研工業  
×  
KENICHIRO OOMORI  
MOVING DESIGN



canary104  
×  
EETY



(株) 挽物所 639  
×  
(株) タカスガクデザイン  
アンドアソシエイツ



(株) プラト  
×  
seino takashi design

◆展示発表会

東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN

- ・期 日 令和5年2月15日（水）～17日（金）
- ・会 場 東京ビックサイト

成 果 目 標	結 果
Gマーク取得商品1件（経営計画目標） （令和4年までに累計3件獲得）	取得なし （令和4年までに0件獲得）
新規参加者を2者獲得（経営計画目標） （令和4年までに合計：8者獲得）	新規事業参加者5社獲得 （令和4年までに合計：14社獲得）

<地場産業販路開拓・PR事業>

当協会の地場産業支援事業で開発、製作した製品のアフターフォローを行う事業で、過去の参加企業や団体、個人事業者等に対し、取扱商品の販路開拓やPRの場を提供し、継続的な支援を行っている。

本年度は新型コロナの影響により2年連続で開催が中止されていた6月の「インテリアライフスタイル」に初出展した。また6年連続で2月の「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」にニューウェーブ「しずおか」創造事業と共同で出展した。1月よりイベント開催制限が見直されたことにより、前年の約1.6倍の来場者数となり、目標としていた新規取引先の開拓60件、商談（成約）件数20件に対して、新規取引先の開拓72件、商談（成約）件数43件と前年以上の成果をあげることができた。



◆参加事業者

インテリアライフスタイル

岸本挽物、ZEROMISSION、KOZOU HAKOSTYLE、（有）日本スエーデン  
東京インターナショナルギフトショー LIFE×DESIGN

大日三協（株）、（有）藤原木工、（株）山崎製作所、岸本挽物

◆出展展示会

インテリアライフスタイル

- ・期 日 令和4年6月1日（水）～3日（金）
- ・場 所 東京ビックサイト

東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN

・期 日 令和5年2月15日(水)～17日(金)

・会 場 東京ビックサイト

成果目標	結果
インテリアライフスタイル 新規取引先の開拓 60 件、商談 20 件	新規取引先の開拓 62 件、商談 22 件
東京インターナショナルギフトショー 新規取引先の開拓 60 件、商談 20 件	新規取引先の開拓 72 件、商談 43 件

#### <若手職人支援プロジェクト>

静岡の伝統工芸、ものづくり産業の未来を担う若手職人グループ・するがクリエイティブを支援するもので、本年度は、当初勉強会の開催を予定していたが、令和5年度に実施予定の小田原・箱根地区で活動されている職人グループとの交流・相互イベント開催などの準備、検討期間に切り替えた。

成果目標	結果
勉強会参加者の満足度 90%以上	90%

## ② 人材養成、人材確保推進事業

### <伝統工芸技術保存講習会>

伝統工芸業界の後継者を対象に講習会を開催し、伝統技術の継承及び新技術の習得を支援した。

受講生のうち、木工の部に参加している細井敏之氏が富山県で毎年行われている全国的なクラフトコンペ「工芸都市高岡クラフトコンペティション」へ出品したが、受賞には至らなかった。

	開催日数	講師	受講者数	内容
漆器	20日	安藤嘉津夫氏	11人	乾漆
竹工の部	11日	大村俊一氏	5人	つむじ状ひご飾り
木工の部	17日	松島富蔵氏	8人	刳物(クリモノ)
蒔絵の部	20日	大内啓三氏	8人	自由課題
拭漆の部	10日	安藤嘉津夫氏	6人	拭漆実習

講習会の授業風景  
(木工の部)



出品作  
細井敏之氏作  
「スツール」



成果目標	結果
講習会制作作品の展示発表の場を年1回以上設定 (経営計画目標)	産業フェアしずおか内に特設ブースを設置 (4回目) 北館3階ラウンジに常設展示コーナーを設置
全国規模の工芸展覧会へ3点出品 (経営計画目標)	工芸都市高岡クラフトコンペティションへ 1点出品

### <静岡ものづくり支援事業>

地場産業におけるものづくり関係者を対象に、地域産業の抱える課題の解決につなげるための講演会及び講座の開催、展示会への出展を実施した。

#### ◆公開講演会①

木工関係者を対象に、旭川国際家具デザインコンペ最優秀賞受賞やNHK制作番組「プロフェッショナル-仕事の流儀」に出演するなど、国内外で評価を得ている木工職人・迎山直樹氏を講師に招聘し、椅子づくりについての講演を行なった。

- ・期 日 令和5年2月3日(金)
- ・会 場 ツインメッセ静岡 会議室409
- ・テーマ 人の手と目で作る椅子  
～木工家・迎山直樹の椅子づくり～
- ・講 師 迎山直樹氏 (smallAxe 合同会社代表・  
木工家・椅子職人)
- ・参加者 34名



椅子の細部に至るまでこだわりの話しを頂き、皆興味津々

#### ◆公開講演会②

オープンファクトリー開催に向けたキックオフとして、「燕三条 工場の祭典」実行委員の山田立氏を講師に招聘したセミナーと、オープンファクトリーイベント開催を模索している地元グループの代表3名によるパネルディスカッションの2部構成の講演会を実施した。

- ・期 日 令和5年3月1日（水）
- ・会 場 ツインメッセ静岡 レセプションホール
- ・テーマ 静岡のモノづくりを発信しよう！！  
～静岡オープンファクトリーキックオフ  
セミナー～
- ・講 師 【第1部】  
山田 立氏（株式会社玉川堂 番頭/  
「燕三条 工場の祭典」実行委員）
- ・パネリスト 【第2部】  
山崎かおり氏（株式会社山崎製作所）  
伊豆川剛史氏（伊豆川飼料株式会社）  
阪口瀬理奈氏（静岡経済研究所 特任研究員）
- ・参加者 72名



工場の祭典の様子を  
写真を交えて説明



オープンファクトリーの  
魅力について楽しく解説

#### ◆研修会

ギフトショーの出展企業を対象に、出展効率を高めるため、経営コンサルティング会社代表清水氏を招聘して、ギフトショー本番までにしておく準備や展示会場での接遇方法などについてのレクチャーを行った。

- ・期 日 令和5年1月25日（水）
- ・会 場 ツインメッセ静岡 会議室 404・405
- ・テーマ ギフトショーに向けてしておくべき準備  
及び基礎接遇
- ・講 師 清水博之氏  
(エクシトコンサルティング代表)
- ・参加者 13名



展示会に初参加の方も  
多く、皆真剣

#### ◆技術プロモーション支援

静岡の木工技術を伝えるために、3月に京都・みやこめっせで開催された「京都国際ナショナルギフトショー WAZA 博」に出展した。前年に引き続き、受注や試作の具体的な依頼を受けるなど、関西圏へ静岡の木工技術をPRすることができた。

- 京都インターナショナルギフトショー WAZA 博
- ・期 日 令和5年3月8日(水)・9日(木)
  - ・会 場 みやこめッセ
  - ・出展企業 岸本挽物(木工挽物)  
KOZOU HAKOSTYLE(木工指物)



静岡の木工技術をPR

成果目標	結果
講演会の参加者数 30 名以上	講演会①の参加者 34 名 講演会②の参加者 72 名

### ③ 「産業フェアしずおか」開催事業

「はじまる！SHIZUOKA 新時代～輝く未来へ、スタートアップ！～」をテーマに、10 年先を見据えた新たなスタートと位置付け、将来の産業の担い手となる子供たちに地元の産業を実感してもらうため、新たに各ゾーンごと特色のある体験コーナーを設置した。

さらに、前年好評だった「エリア物産展」をアップグレードし、中部横断道周辺地域との経済交流を進めるため、上越市、佐久市、甲府市等が参加した「中部横断道交流物産ストリート」を実施した。

今回は南館大展示場が大規模改修に伴い使用できない分をプロムナードや小展場に振り分け、全館を使用し従来どおりの賑わいを創出した。

また、「地場産業ゾーン」の新規出展者も1 者を確保、第1次中期経営計画期間における目標値を超える合計15 者を確保するに至った。

これらの取組の結果、アンケート調査では約99%の来場者から“また来たい”との回答を得た。

- ・期 日 令和4年11月26日(土)・27日(日)
- ・テーマ 「はじまる！SHIZUOKA新時代～輝く未来へ、スタートアップ！～」
- ・会 場 ツインメッセ静岡  
北館大展示場、他
- ・出展団体 161 団体
- ・入場者数 14,500 人



メイン会場  
北館大展示場の様子



冷凍マグロの裁断ショー  
&即売会



屋外を利用した  
中部横断道物産ストリート



成果目標	結果
「次回もフェアに来たい」という来場者のアンケート 回答率 90%以上	回答率 98.7%
新規地場産業出展者の確保 1 者（経営計画目標）	1 者

### (3) 都市型産業支援事業

静岡市産学交流センターの指定管理業務を受託（※1）し、次代を担う本市を代表する産業を生み出すこと、及び、世界、全国に挑戦する中小企業の振興を図ることを目指して、創業支援、マーケティング支援、産学連携など各種事業を行った。

第1次中期経営計画に掲げた成果指標である新規創業者数、新商品開発件数、新分野進出件数は、年度目標の合計35件を上回る46件の成果（※2）を上げた。

また、コロナ禍の中、セミナー等の多くはオンライン方式で実施したが、必要に応じて対面式や対面とオンライン方式を組み合わせたハイブリッド方式を活用するなど、臨機応変に対応した。

※1 平成30年度からは清水産業・情報プラザの管理者である静岡商工会議所と施設管理共同事業体を結成し受託

※2 清水産業・情報プラザ39件を合わせると79件

#### ① 創業者支援事業

資本や人材等の経営資源に乏しい創業者がスムーズに事業を開始し、独り立ちするための支援として、経営相談・指導及び事業機会拡大のための各種事業の企画・実施並びに創業者支援セミナーを開催した。

##### <創業・経営相談>

創業希望者や創業後間もない事業者及び中小企業者等を対象に、創業や経営に関する悩みや課題解決に向け、プロジェクトマネージャーをはじめとする支援スタッフ・窓口相談員が経営相談、事業指導を行った。

成果目標	結果
相談件数 200件	214件

##### <大学等起業家育成支援事業>



常葉大学での授業風景

大学や高等学校等の学生を対象に、創業マインドを醸成するため「ビジネス実践講座」を実施した。なぜ創業について学ぶのか、ビジネスにおけるアイデアの出し方、事業化・資金計画の策定の仕方等の基礎的知識の習得の場を提供することで、

学生にとって、選択肢としての「創業」や、「就業」「会社の仕組み」等への理解を深める機会となった。

実施大学等の名称	実施回数	参加者数
静岡大学	3回	9名
静岡県立大学	3回	11名
静岡英和学院大学	3回	19名
常葉大学	3回	18名
静岡デザイン専門学校ファッションビジネス科	3回	20名
静岡デザイン専門学校プロダクトデザイン科 インテリアデザイン科	3回	39名
静岡県立静岡商業高等学校	3回	20名
静岡県立静岡農業高等学校	1回	24名
静岡県立科学技術高等学校	1回	40名
静岡市立高等学校	1回	330名
常葉大学附属橘高等学校	3回	19名
合計 (10校 12学科)	27回	549名

成果目標	結果
大学等5校、高校5校の参加者を確保	実施校：大学等5校（7学科） 高校 5校（5学科）

### <創業者育成支援室運営等事業>

平成30年3月末に『SOHOしずおか』が解散したことに伴い、それまで行っていた事業を同年4月以降、当センターが引き継いでいる。

#### ◆ビジネスプランコンテストの実施

静岡県内で新規に事業展開を目指す事業者及び学生を対象に、起業家精神の高揚と柔軟な発想力・独創性に富む人材の発掘、中小企業における新製品・新サービス開発促進の支援を目的として、「しずおかビジネスプランコンテスト」を開催した。

この事業は、ビジネスプランの作成から事業の立ち上げまで、一貫した支援体制が特徴となっている。

コロナ禍の中、最終審査会での会場参加は発表者、審査員等関係者のみとし、一般視聴者向けにはYouTube動画にてライブ配信を行った。

また、学生部門のうちの1プランは、海外からZoomでの参加となった。



審査員とコンテスト入賞者による記念撮影

なお、今大会から、これまでの「静岡新聞社賞」、「静岡銀行賞」、「静岡鉄道賞」に加え、「静岡ガス賞」が新設された。

#### 開催スケジュール

- ・ 募集期間 R4. 7/1(金)～10/19(水)
- ・ 書類審査 R4. 11/8(火)
- ・ プレゼン審査 R4. 12/2(金)、12/3(土)
- ・ 最終審査会 R5. 2/14(火)

#### 応募件数等

- ・ 応募件数 62 件 (一般部門 18 件、学生部門 44 件)
- ・ 入賞件数 10 件 (一般部門 5 件、学生部門 5 件)



学生が考えたビジネスプランの発表を熱心に聞く受講者たち

#### ◆創業者育成室の運営

創業者の事務所開設の経費負担や創業後の経営を支援するため、インキュベーター施設である創業者育成室の効果的な運営管理を行った。

#### ◆ブレイクスルーセミナー

創業希望者や創業者、中小企業者を対象に、課題解決や事業の躍進などを目的として、専門家や経営者等を講師に迎え、“気づき”のためのセミナー（勉強会）を実施した。

講座名	内容	参加者数
ブレイクスルーセミナー (2回)	オンライン「限界を設けずに挑戦しよう！」 講師：WELY(株) 代表取締役社長 松岡奈々 氏  ハイブリッド『「家業らしさ」と『自分らしさ』の両立』 講師：(株)遊技通信 代表取締役 伊藤実啓 氏／ (株)Rand 代表取締役 峯尾喜一 氏	延べ 97名 (うち会場 参加10名)
入居者セミナー SOHO しずおか 勉強会 (2回)	対面式「知って得するスマホ活用術」 講師：静岡生活相談 杉浦葵 氏 (清水産業・情報プラザ入居者)  対面式「これだけは知っておきたい税務の基礎知識」 講師：坂口陽子税理士事務所 代表 坂口陽子 氏	延べ 56名

令和4年7月開催  
ブレイクスルーセミナー  
松岡奈々氏オンライン講演



- ◆女性限定「起業スタートアップ塾」（2回開催/参加者延べ43名）：対面式  
創業間もない女性、創業に関心のある女性に対し、SNSの活用方法を支援するため、「女性の創業」に特化したセミナーを開催した。地元で活躍する女性起業家をゲストに迎えて意見交換を行うほか、ビジネスにおけるSNSについての講義を行った。

- ・講師：㈱るるキャリア 代表取締役 内田美紀子 氏  
          ㈱プラス・ブレスト 取締役 増田郁理 氏
- ・ゲスト：atelier uqina 代表 酒井幸奈 氏



女性限定「起業スタートアップ塾」

熱意ある女性達が集まり、  
ワークショップでは積極的な  
意見交換が行われた。

- ◆創業スタートアップ講座(全6回連続講座/申込者28名)  
\*男女共参加可、対面式、参加者延べ110人  
創業予定者を対象に、B-nest 経営応援団(中小企業診断士)による創業セミナーを開催した。マーケティングの基礎知識や資金計画の立て方、ビジネスプラン作成等の講義のほか、当センターと関わりの深い創業者をお招きし、創業前後の実体験を語っていただくことで、参加者から好評を博した。

- ・ゲスト：アズスマイル 代表 押尾亜哉 氏  
          寿陽会合同会社 代表 佐藤陽子 氏  
          AL Alba 代表 寺崎夕里子 氏  
          ビタコラミン静岡校 塾長 栗嶋竜太 氏

成果目標	結果
ビジネスプランコンテスト 応募件数 80 件	62 件
女性創業者を 10 人以上輩出（経営計画目標）	10 人

## ② マーケティング支援事業

創業者、中小企業者、従業員に対し、マーケティング発想を醸成する目的で、マーケティングに必要なスキル習得を支援する「マーケティング支援講座」等を開催した。

### ＜マーケティング支援講座（セミナー・研修・講座の企画・実施）＞

コロナ禍のため、オンライン方式（7回）を主体とし、一部セミナーを対面式（3回）及びハイブリッド方式（3回）で実施した。ハイブリッド方式で開催したセミナーでは、「オンラインよりも臨場感があって良い」との声があった。また、講師の熱量が高いセミナーでは、会場の熱量がオンライン受講者には伝わらないという課題も見られた。

講座名	内容	参加者数
マーケティング支援講座(8回)	<p>新たな市場調査スキルからネットショップ、集客に至るまで、バラエティに富んだ講座を実施し、よりタイムリーで実践的な内容を中心に学習及び交流する機会を提供。</p> <p>「世界で勝つブランドをつくる」 講師：岩崎邦彦氏（静岡県立大学教授）</p> <p>「値上げしてもお客様に愛される 売れるお店の作り方」 講師：竹内謙礼氏（有いろは）</p> <p>「商売繁盛心理学」 講師：酒井とし夫氏（ファーストアドバンテージ(有)）</p> <p>ほか5講座</p>	延べ 823 名
特別編（5回）	<p>「ゼロからわかるリーンスタートアップ(※1)」</p> <p>「デザイン思考ワークショップ」</p> <p>「リーンローンチパッド(※2)実践編」 3回</p>	延べ 140 名

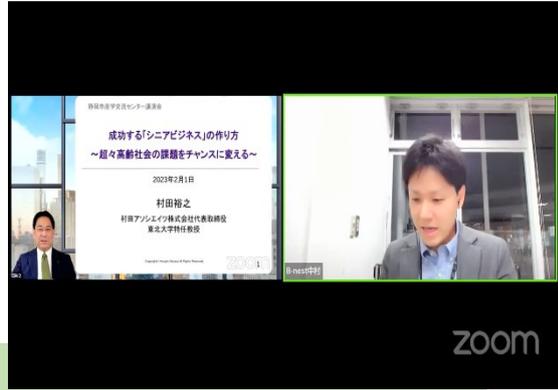
※1 新事業で、早く安く失敗して迅速に軌道修正しながら顧客開発モデルを構築すること

※2 新事業で、仮説検証を繰返しながら効率的に事業を立ち上げる手法。

なお、リーン（lean）とは「筋肉体質の」「無駄がない」という意味。



リーゼンローンチパッド実践ワークショップ



マーケティング支援講座の様子

成果目標	結果
講座受講者による満足度割合 90%以上（経営計画目標）	97%

### <静岡おみやプロジェクト>

地域資源を活用した“静岡の新しいお土産”の開発を目指し、静岡市内の食品事業者がマーケティングのノウハウやスキルを学びながら、約10ヵ月をかけて商品開発を行い、販路開拓から販売まで当センターが支援した。

第14回目となった本年度は、「ECを活用するおみやげ商品開発！」と題して、近年の時代の変化、消費者の変化、トレンドに合わせ、ECの活用を見据えた商品開発や伝え方を検討していくプログラムを実施した。既存商品の情報収集を行いコンセプト・ターゲットを設定し、全体勉強会、個別打合せを経て試作品を製作し、消費者調査、バイヤー調査により、よりお客様に選んでいただける商品へと進化させたうえで、マーケティング戦略、パッケージデザイン等を検討した。

静岡おみやプロジェクト  
戦略開発シミュレーション



産業フェアしずおか



取組内容

- ・勉強会／8回 ・個別相談会／10回
- ・消費者モニターによる試食評価会／1回
- ・専門家による試食評価会／1回
- ・成果発表会

開催日：令和5年3月8日（水） 場所：静岡市産学交流センター  
 一般向けオンライン配信およびバイヤー招致による交流会

販売促進関連事業

- ・「おーい！マルシェ」参加

開催日：令和5年3月19日（日）

場 所：JR大井町駅前西側 アワーズイン阪急前（東京都品川区）

出店者：令和4年度「静岡おみやプロジェクト」参加事業者3者が参加

成果目標	結果
新商品開発 6件	6件

【令和4年度開発商品】



### ③ 産学連携事業

大学等(学术界)が保有する高度で専門的な知識や技術等を、市内の企業(産業界)が活用できるよう橋渡しをした。

#### <産学連携コーディネータによる産学連携推進>

産学連携コーディネータによる相談、大学・研究機関または企業への橋渡しを実施した。

今後も更なる支援強化に向け、引き続き各大学と産学連携コーディネータとの連携強化を図り、マッチング件数の増加に努めていく。



地域企業の技術的相談に対応する  
コーディネータ

業務	内容	開催回数等
産学連携コーディネータ相談	企業が抱える問題、課題等への相談	相談件数 100件
静岡地域産学連携コーディネータ会議	静岡大学、静岡県立大学、東海大学海洋学部、(公財)静岡県産業振興財団、静岡県工業技術研究所、静岡市清水産業・情報プラザ、静岡市経済局産業振興課、マリンオープンイノベーション機構、しずおか焼津信用金庫、静岡市産学交流センターのコーディネータとの情報交換	全6回
事例セミナー、講演会の開催	第140回「産学官交流」講演会・交流会 WEB配信で実施した。 発表者：静岡理工科大学	延べ40名 会場参加 12名

企業及び大学見学会 の開催	西光エンジニアリング(株)	参加 11 名
	(株)アステクノス	参加 8 名
	静岡県立農林環境専門職大学	参加 13 名
	スマートブルー(株)磐田農場	参加 14 名
	静岡県富士工業技術支援センター	参加 19 名
	(株)エコネコル	参加 22 名

成果目標	結果
相談件数 100 件	100 件

### <地域課題に係る産学共同研究委託事業>

静岡市が重点的に振興を図る戦略産業分野等(※1)で、中小企業者や各団体が大学等と共同で行う新製品の開発・事業化、新たな事業への進出や社会・経済・環境の変化に対する取組等(調査・研究・開発事業等)を支援した。

なお、令和5年3月17日に実施した成果発表会は、新型コロナウイルスの影響で、会場での発表とオンライン方式でのオンデマンド配信を並行して行った。

- ※1 ①食品・ヘルスケア ②海洋・エネルギー ③観光・ブランド  
④文化・クリエイティブ ⑤清水港・ロジスティクス  
⑥その他地域活性化・新産業創出に関連する分野)

研究事業		分野	企業 (中心団体)	大学
基礎コース ※2	低濃度一酸化窒素による感染症予防に関する実用化研究	⑥	(株)アステクノス	東京大学大学院理学系研究科
	梅ヶ島食べる発酵茶の開発	①	隠れ茶を守る会	東京農業大学生命科学部
	静岡お土産缶詰の自販機販売ビジネスモデルの確立と新製品の開発	① ③	清水河岸の市協同組合	静岡産業大学経営学部
	静岡/清水テロワール(日本酒)の付加価値創出事業～オクシズからシズマエまで～	① ②	三和酒造(株)	東海大学海洋学部
	茶園における温室効果ガスの吸収及び削減量のJ-クレジット化事業	⑥	Blue Farm(株)	静岡大学農学部
	日本最大級の在来大豆を活かした和菓子の開発	①	農事組合法人みらい	静岡県立農林環境専門職大学生産環境経営学部

	バイオリファイナリーを活用した食品廃棄物再資源化のための可溶化技術の開発	⑥	山梨罐詰(株)	静岡県立大学 食品栄養科学部
※3 応用コース	実用化に向けた人工海藻シーラントによる藻場造成手法の開発	②	(株)東海ア クアノー ツ	東海大学 海洋学部
※4 発展コース	マイクロ波抽出香りエキスと濃縮だしを使ったレトルト新商品（カレー）の開発と販路開拓	①	(有)西尾商 店	

- ※2 基礎コース（委託限度額 100 万円）では、主に、「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択した。
- ※3 応用コース（委託限度額 200 万円）では、主に、「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に実用化（商品化）が見込めるものを採択した。
- ※4 発展コース（委託限度額 100 万円）では、基礎コースまたは応用コースを経験した後、数年内の課題で、研究が既に終了し、実用化（商品化）を目的とするものを採択した。

成果目標	結果
製品化件数 2 件以上（経営計画目標）	2 件（※5）

※5 製品化の内訳：

- ・クラゲ予防効果のあるサンスクリーン（日焼け止めクリーム）の商品化  
（株）エイビイエス：販売中——令和2年度委託分）
- ・魚節フレーバー濃縮エキスを活用したクラフトカレー及びカレーパンの商品化  
（有）西尾商店：販売中——令和元、2、4年度委託分）

#### ④ 情報提供事業

当センターの認知度の向上と利用者の拡大に向けて、起業者及び中小企業者等に対して、当センターや他の産業支援機関等の情報を分かりやすく提供した。

＜ホームページ・メールマガジン・広報誌等による広報事業＞

当センター、国・県・市等の各行政機関及び産業支援団体等の産業支援に関する情報について、ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook、Youtube や広報誌「B-nest FACE」等の媒体により、分かりやすくタイムリーな情報発信を利用者に提供したほか、メディアへの当センターの掲載回数増にも注力した。

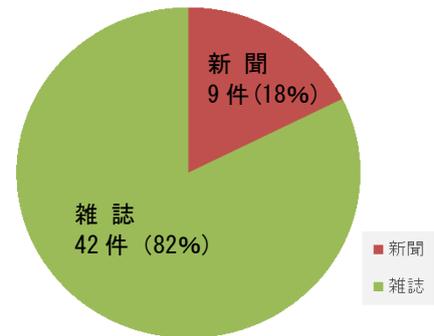
また、各種事業においてメルマガ登録を推進した結果、特に（テーマが時流に沿った内容で受講者の関心が高かったことで）オンライン講座の増加により、メルマガ新規登録者数が増加した。

そのほか、支援事業紹介等のスマホ対応など、利用者の利便性向上を図った。

成果目標	結果
メールマガジン新規登録件数 250 件	314 件

(参考)令和4年度末メルマガ登録件数  
3,148 件 (前年比+137 件)

### メディアへの掲載件数と割合



#### <ラウンジ等における情報提供>

当センターのラウンジ等にて、「静岡おみやプロジェクト」「産学共同研究委託事業」等で新たに開発された製品の展示や、それらに関する情報を提供した。

また、国・県・市等の各行政機関、他の産業支援団体及び大学等の産業支援施策の情報の一元的な提供にも努めた。

### ⑤ 施設提供事業

#### <貸会議室業務>

中小企業や大学等の打合せや研修会、講演会等に施設の貸出しを行なった。

利用者から要望があった「ネットによる予約」、「利用料金の銀行振込」を可能にするため、新予約システムを導入した。

使用料収入は、市による大会議室の連続使用（静岡市コ・クリエーションスペース）があったこともあり、前年度（2,096 万円）より増加した。

- ・利用件数 1,921 件
- ・開館時間 月曜日～土曜日 9 時 30 分～22 時 00 分

※ただし、休館日（日曜日、国民の休日及び 12 月 28 日から翌年 1 月 5 日）を除く。

#### 会議室の利用状況

区分 年度	開館日数 (日)	来場者数 (人)	来場者数内訳(人)			利用 コマ数	総 コマ数	平均 利用率※ (%)
			会議室 利用者数	相談者数	日平均			
R4	290	32,926	31,884	1,042	114	5,572	11,600	48.0

※平均利用率=利用コマ数÷総コマ数（各室 1 日 5 コマ×全 8 室×開館日数）×100

成果目標	結果
産学交流センターの施設使用料収入 2,300 万円以上 (経営計画目標)	2,268 万円

#### (4) 静岡市中小企業支援センター事業

静岡市から中小企業支援センターの指定法人の指定を受け、中小企業が抱える様々な課題に対して診断・助言を行うなどの各種事業を実施した結果、都市型産業支援事業との連携効果もあって、第1次中期経営計画で設定した新規創業者数等の目標を上回る成果を上げた。

##### ① 窓口相談等事業

中小企業者や創業を目指す事業者の課題解決のために、経営の専門家である中小企業診断士で構成する窓口相談員（B-nest 経営応援団）を中心に、経営相談、マーケティングアドバイス、創業相談を行った。

4月からは、毎週土曜日をIT専門家によるWEBマーケティング相談日として、ECサイトやWEBマーケティングに関する創業者や中小企業の要望に対応した。

また、市の補正予算による補助金額の増額により、8月から2月にかけて、相談時間の延長、土曜日については相談員の増員を行った。※

##### <B-nest 経営応援団による相談>

###### 窓口相談員の配置

中小企業診断士5名（経営、資金計画、販路開拓、現場改善、キャリア開発等）

IT専門家4名（ECサイトやWEBマーケティングに関するさまざまな課題）

###### 開設時間

月曜日から金曜日 13時から19時（中小企業診断士）

土曜日 10時から17時（IT専門家：4名交代制）

※8月から2月の月曜日から金曜日は2時間延長し、10時から19時まで。

同じく土曜日は中小企業診断士を1名増員し、2名体制とした。

###### 相談件数

726件（令和3年度597件、令和2年度666件、令和元年度777件）

成果目標	結果
下記3項目の合計数35件以上 （経営計画目標）	
新規創業者数 25件	新規創業者数 29件
新商品開発 5件	新商品開発 11件
新事業進出 5件 計 35件	新事業進出 0件 計 40件

## ② 専門家派遣事業

中小企業者が抱える様々な課題の解決に向けて、適切な診断・助言を行うため、当センターに登録された民間の専門家を事業者に派遣した。

専門家派遣事業についても市の補正予算による補助金額の増額により、派遣枠を拡大した。

実施分野 経営全般・情報化・マーケティング・デザイン等

実施回数 [一般枠] 112回/24社

[補正枠] 43回/9社 合計 155回/33社

登録アドバイザー（専門家） 108名

成果目標	結果
新たに5人の専門家を確保（経営計画目標）	新規専門家登録者数 9人 （うちIT関係相談可 2人）

## ③ 新連携・地域資源活用プログラム等、利用支援事業

国が進める「新連携」や「中小企業地域資源活用プログラム」等の国庫補助制度の採択に向け、静岡市における地域資源や企業の技術・ノウハウを活かした新製品・新サービスの開発、事業化の推進について、他の支援機関と連携を図りながら支援した。

地域資源活用プログラム支援

有限会社石井育種場 ---- 新商品のブランドコンセプト構築を目的としたロゴマーク・パッケージデザインの作成

静岡県豆腐油揚商工組合 ---- 豆腐・豆乳を活用した新商品の試作開発研究

静岡県学校給食パン米飯協同組合 ---- 静岡県産米粉を活用したパンの製造方法の確立

丸徳商事有限会社 ---- 放棄茶畑で栽培された大生姜のブランド化に向けた取り組み

株式会社共臨社 ---- 浜松医科大学医学部附属病院との共同開発によるリハビリ機器の製品化・販路開拓

## ④ 中小企業等販路開拓支援事業

コロナ禍のもとでの販売促進支援事業として、中小事業者・個人事業者の当面の課題から、マーケティング分野におけるDXへの取組を支援する目的で、セミナーを企画・開催した。

<中小企業等販路開拓支援セミナー 全5回>

7月20日 オンライン「お客様とつながり続けるEC運営 7つの要点！」

講師：河野貴伸氏（㈱フラクタ）、三浦卓也氏（ミウラタクヤ商店）

- 8月4日 対面式 「ブランドコンセプトを伝えるためのワークショップ！」  
 講師：河野貴伸 氏（㈱フラクタ）、三浦卓也氏（ミウラタクヤ商店）
- 10月21日 オンライン「売上400%成長を達成した運営者が語る集客の履歴」  
 講師：三浦卓也 氏（ミウラタクヤ商店）
- 11月8日 対面式「ブランディングにおける“言葉”の設計とは？」  
 講師：河野貴伸 氏（㈱フラクタ）、鈴木脩平氏
- 1月24日 対面式「自社EC・実店舗誘客につなげる顧客視点を学ぶ」  
 講師：繁田和美 氏（しげたかずみデザイン事務所）

参加者延べ155名 満足度93.0%



DX推進セミナー（フラクタ）



DX推進セミナー（繁田氏）

成果目標		結果
セミナー開催回数	4回以上	5回
販売会開催回数	1回以上	0回（※）

※コロナ禍のため、対面となる販売会は見合わせ、販売・DX関連セミナーを実施した。

### ⑤ 制度融資関連事務

中小企業者が資金調達のために利用する「中小企業融資制度」の受付事務を静岡市から受託し実施した。

令和4年度は、9月に発生し、本市に甚大な被害をもたらした台風15号に係る「中小企業災害対策資金」及び「セーフティネット保証」受付事務が発生したものの、コロナ関連の「セーフティネット保証」受付事務が減少したため、受付件数は前年度に比べ、若干減少した。

なお、静岡市の制度融資受付額は、中小企業災害対策資金の新設により、前年度実績の3倍増となった。

融資受付件数 1,016 件 (前年度 588 件)  
 申請金額 10,213,045 千円 (前年度 3,340,934 千円)

【申請受付内訳】

制 度	件数(件)	金額 (千円)
小口資金	6	20,000
短期経営改善資金	301	1,630,800
産業振興資金	238	1,048,000
創業支援資金	15	54,900
設備投資強化資金	25	176,082
事業承継支援資金	3	11,500
中小企業災害対策資金	428	7,271,763
静岡市制度融資 小計	1,016	10,213,045
保証※	982	
合 計	1,998	10,213,045

保証は認定事務のみ

※保証の内訳：( ) 内は前年実績

セーフティネット保証4号	575 件 ( 848 件)
セーフティネット保証4号 (台風15号)	219 件 ( 0 件)
セーフティネット保証5号	188 件 ( 326 件)
危機関連保証	0 件 ( 370 件)
計	982 件 ( 1,544 件)

## 2 収益事業（ツインメッセ静岡）

### (1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

#### ① 展示場及び会議室等の貸与

当協会の経営基盤の安定化を図るとともに、静岡市のMICEの拠点として地域活性化を推進するため、公益目的以外(収益事業)にも展示場及び会議室を貸与した。

大展示場では、静岡市と共同で誘致に取り組んだ、地方初開催となる持ち込み型ゲームイベント「C4LAN 2022 SUMMER」の誘致に成功した。令和5年度については閑散期であるゴールデンウィークに開催されることが決定しており、今後継続的な利用が見込められる。

会議室は、企業の社員研修や商品説明会などのほか、展示会開催時の控室など幅広く活用された。

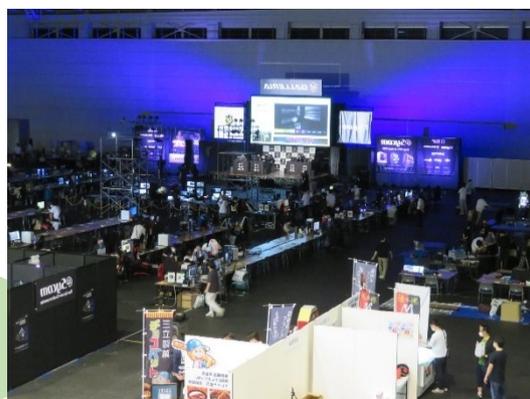
展示場における収益事業催事件数は96件で、南館大展示場の利用停止に伴い公益事業が優先されたため前年度の121件と比較して25件減少した。また、収入額から算出される収益事業比率は25.3%であった。

#### <主な展示場利用>

催事名	使用期間
ふじのくにキャンピングカー&アウトドアショー	6/17～19
静岡伊藤忠ファミリーフェア	6/24～26 12/17～19
輸入車アウトレットフェア	7/8～10 2/17～19
JT将棋日本シリーズ 静岡大会	7/29～30
C4LAN 2022 SUMMER	8/11～14
新日本プロレス 静岡大会	11/30
C i S S 決算感謝フェア	3/10～12



「JT 将棋日本シリーズ」ではプロの対局を間近でみる事ができました。



「C4LAN」のステージでは大型スクリーンにゲームの様子が映しだされた。

## ② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業

テナント方式によるレストラン、飲料水等の自動販売機、コインロッカー等を設置して、施設利用者・来場者の利便を図るとともに収益の確保に努めた。

サービス施設・設備	数量等	サービス施設・設備	数量等
レストラン	1店	コインロッカー	31箱
飲料水自動販売機	24台	コインコピー機	1台



### 3 公益と収益に共通する事業

#### (1) 利用促進事業（ツインメッセ静岡）

静岡市のMICE推進の中核施設の役割を担う拠点として、にぎわいと活力ある地域づくりに貢献するため、新規展示会の誘致、自主事業の開催等施設利用率の向上を目指し、各種事業に取り組んだ。

##### <大規模コンベンションの共同誘致営業及び展示会の開催推進>

静岡市に集積している産業関連イベント誘致のため、するが企画観光局、静岡県文化財団（グランシップ）と共に、海洋関連の展示会を主催するインフォーママーケットジャパンに訪問し情報交換を行い関係性の構築に努めた。

また、日本展示会協会との情報交換により、子供向け福祉用具展へのアプローチを行うなど、誘致検討案件の獲得に努めた。

成果目標	結果
誘致検討案件を2件以上確保	3件

##### <小展示場の利用拡大>

新型コロナの影響で中止となった主催者へ再利用の働きかけを行ったほか、南館大規模改修の影響により利用できない利用者に対し、小展示場へ会場変更の調整を行った。目標の利用率40%以上には届かなかったが、昨年の利用率28.6%から9.6ポイントと大きく増となった。

成果目標	結果
小展示場の利用率40%以上（経営計画目標）	38.2%

##### <自主事業開催に向けての取組>

中部横断道の沿線地域の産業・関係者とのネットワーク構築に取り組み、産業フェアしずおか内でトライアルとして山梨県及び長野県の地場産業や地場産品等を一堂に集めた物産催事を実施した。

また、令和7年度完成予定の海釣り公園も好機ととらえ、東名高速道路や中部横断道からの誘客を見込んだフィッシング関連イベントの開催を目指し、静岡市と共同で釣具メーカー等との関係性の構築を開始した。

成果目標	結果
令和5年度開催に向けて、関係各所への情報収集及び視察の実施	中部横断道物産ストリートを産業フェアしずおか内でトライアルとして実施

### <広報媒体の活用>

ツインメッセ静岡ホームページを動画の挿入やスマートフォン対応可能なものへリニューアルした。

また、令和4年11月にツイッターの公式アカウントを取得し、ホームページと連携し、イベント情報やツインメッセ静岡の現在進行形な情報を中心に92件のツイートをを行い92,846のインプレッション数<sup>(※1)</sup>を獲得するなどSNSを活用した情報発信に努めた。

\*1 Twitterのインプレッション数：当協会のツイートをユーザーが「表示した回数」のこと。

#### イベントカレンダーの配布

発行部数：10,000部（年6回・隔月発行）

設置場所：静岡県庁、静岡市役所、金融機関、静岡県内観光施設等180箇所

## (2) 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）

来場者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行った。

・収容台数 立体587台・地下175台

・利用料金 30分毎100円

・駐車場利用台数

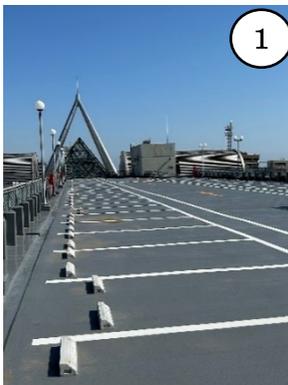
（ ）は前年度

立体駐車場	地下駐車場	計
85,761台 (99,400台)	0台 (776台)	85,761台 (100,176台)

### (3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）

故障発生による施設、設備の機能停止に伴う安全性、利便性の低下を未然に防止し、施設を安定的に運営するため「中長期修繕更新計画」に基づき、予防保全的に実施してきている計画修繕は、長期化した新型コロナや南館休館の影響による財政状況を考慮し、本年度も緊急性の高い9件に絞り実施した。（その他小破修繕は35件実施）

	計 画 修 繕
1	立体駐車場屋上防水改修
2	自動火災報知設備第4期更新
3	北館吸収冷温水機分解整備
4	南館無停電電源装置更新
5	南館吸収式冷温水機燃焼部品交換整備
6	北館地下機械室冷温水・冷却水ポンプ整備
7	エレベーター修繕（1機～5機）
8	北館大展示場排煙窓電動オペレーター予備電源装置ほか取替
9	木製ベンチ修繕



1



2



3



4



5

- ①②立体駐車場屋上防水
- ③南館無停電電源装置
- ④北館冷温水・冷却水ポンプ
- ⑤南館吸収式冷温水機
- ⑥自動火災報知設備
- ⑦北館吸収式冷温水機
- ⑧木製ベンチ



また、令和4年2月18日付けで木内・五光特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結した「南館耐震補強・大規模改修工事」は、準備期間を経て同年6月1日より工事着手し、計画工程どおり順調に施工を進め令和5年3月末までにほぼ完了した。今後、監理者による完成検査、消防検査、発注者検査を受検後、4月28日に引渡しを受ける予定である。



#### 4 組織・人材づくりへの取組

##### (1) 組織内の人材育成

職員に求められる能力や意欲向上に資する研修の実施や、適材適所の配置などにより、効果的・効率的な各事業の推進及び円滑な事業継承を図ることを目的に、当協会としての研修を実施し、人事評価制度の検討を行った。

成果目標	結果
研修計画と評価制度（案）の作成（経営計画目標）	研修については外部の研修受講と業務に関連した内部研修などを実施し、評価制度については継続検討とした。

##### (2) 組織内の内部統制

静岡市の政策実現のパートナーとして、業務を遂行していくうえで求められる内部統制機能の充実を図ることを目的に、関連する規程等の見直しを行った。

成果目標	結果
各種規程の整備及び施行（経営計画目標）	「静岡産業支援センターの設置及び管理に関する規程」の改正 「静岡産業支援センター有料駐車場管理規程」の改正

## 5 理事会・評議員会

### (1) 理事会

開催年月日	議 題	審議 結果
R4. 6. 7 (定 時)	<p>&lt; 審議事項 &gt;</p> <p>(1) 令和3年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告及び決算の承認について</p> <p>(2) 定時評議員会の招集について</p> <p>&lt; 報告事項 &gt;</p> <p>(1) 理事長及び副理事長の職務執行状況について</p> <p>(2) 令和3年度資金運用状況について</p>	可決  可決
R4. 7. 12 (決議の省略)	<p>&lt; 審議事項 &gt;</p> <p>第1次補正予算に伴う理事会決議について</p>	可決
R5. 2. 13～ R5. 2. 24	<p>&lt; 持ち回りによる運営状況の報告 &gt;</p> <p>令和4年度公益財団法人静岡産業振興協会運営状況報告について</p>	
R5. 2. 16 (決議の省略)	<p>&lt; 審議事項 &gt;</p> <p>第2次補正予算に伴う理事会決議について</p>	可決
R5. 3. 28 (定 時)	<p>&lt; 報告事項 &gt;</p> <p>理事長及び副理事長の職務執行状況について</p> <p>&lt; 審議事項 &gt;</p> <p>(1) 公益財団法人静岡産業振興協会中期経営計画&lt;第2次&gt;について</p> <p>(2) 静岡産業支援センターの設置及び管理に関する規程の一部改正について</p> <p>(3) 静岡産業支援センター有料駐車場管理規程の一部改正について</p> <p>(4) 令和5年度公益財団法人静岡産業振興協会事業計画について</p> <p>(5) 令和5年度公益財団法人静岡産業振興協会予算について</p> <p>(6) 令和5年度公益財団法人静岡産業振興協会資金運用方針について</p> <p>(7) 事務局長の退任及び任命の承認について</p>	可決 可決  可決 可決 可決 可決 可決

## (2) 評議員会

開催年月日	議 題	審議 結果
R4. 5. 17 (決議の省略)	< 審議事項 > (1) 公益財団法人静岡産業振興協会理事の選任について (2) 公益財団法人静岡産業振興協会評議員の選任について	可決 可決
R4. 6. 23 (定 時)	< 審議事項 > (1) 令和 3 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業の報告及び決算 の承認について	承認
R5. 3. 31 (決議の省略)	< 審議事項 > (1) 公益財団法人静岡産業振興協会理事の選任について (2) 公益財団法人静岡産業振興協会評議員の選任について	可決 可決

## 参考資料

### ◇展示場の利用状況

大展示場では、利用件数は前年度と比較して33件減少し、利用日数も、141日減少した。

これにより利用率は19.6ポイント減少し34.3%となった。

※利用率＝使用日数÷(365-休館日数)

小展示場では、利用件数は前年度と比較して38件増加し、利用日数も138日の増加となった。これにより、利用率も9.6ポイント増加し、38.2%となった。

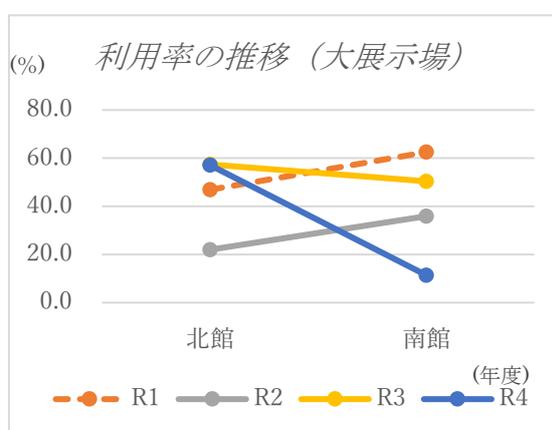
### ① 利用件数・利用日数・利用率

<大展示場>

( )は前年度

	北館	南館	計
件数	87 (44)	11 (87)	98 (131)
日数	205 (206)	41 (181)	246 (387)
利用率 (%)	57.1 (57.4)	11.4 (50.4)	34.3 (53.9)

※休館日：12/29～1/3

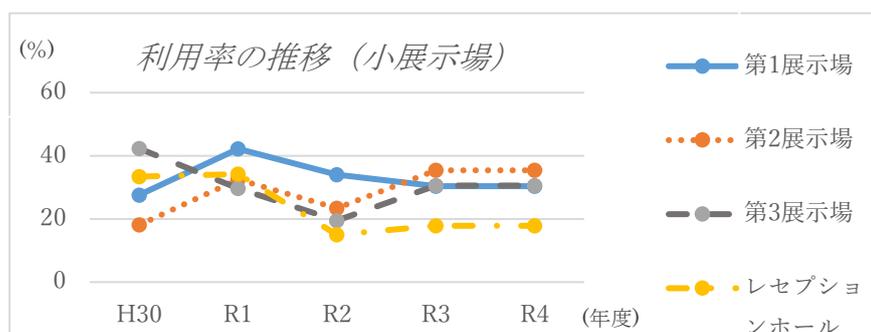


<小展示場>

( )は前年度

	第1	第2	第3	レセプション ホール	計
件数	64 (52)	43 (29)	55 (53)	41 (31)	203 (165)
日数	152 (109)	127 (127)	174 (110)	95 (64)	548 (410)
利用率 (%)	42.3 (30.4)	35.4 (35.4)	48.5 (30.6)	26.5 (17.8)	38.2 (28.6)

※休館日：12/29～1/3

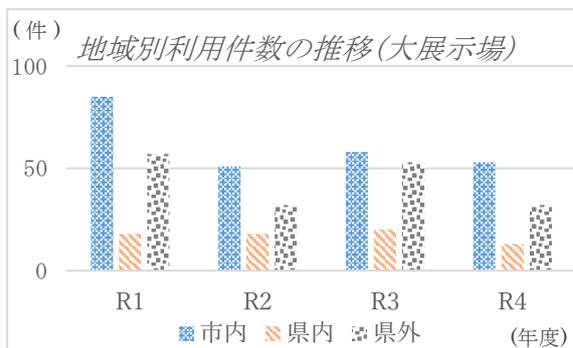


## ② 地域別利用状況

<大展示場>

( )は前年度

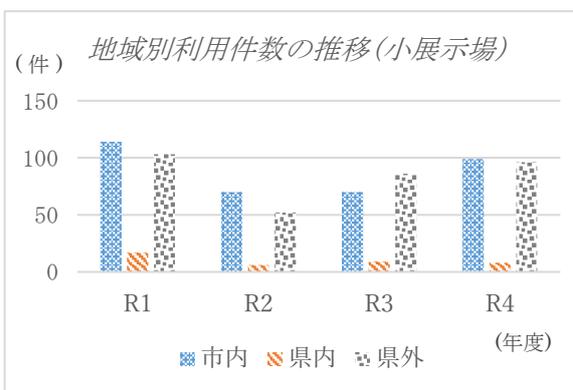
	市内	県内	県外	計
件数	53 (58)	13 (20)	32 (53)	98 (131)
割合 (%)	54.1 (44.3)	13.3 (15.3)	32.6 (40.4)	100 (100)



<小展示場>

( )は前年度

	市内	県内	県外	計
件数	99 (70)	8 (9)	96 (86)	203 (165)
割合 (%)	48.8 (42.4)	3.9 (5.5)	47.3 (52.1)	100 (100)

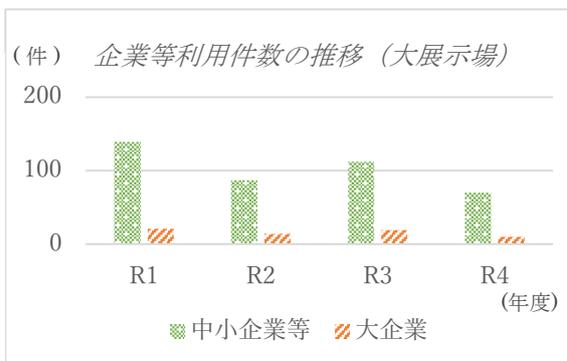


## ③ 企業等規模別利用状況

<大展示場>

( )は前年度

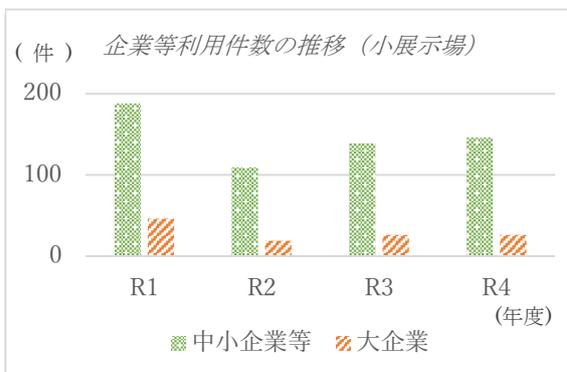
	中小企業等	大企業	計
件数	70 (112)	10 (19)	80 (131)
割合 (%)	87.5 (85.5)	12.5 (14.5)	100 (100)



<小展示場>

( )は前年度

	中小企業等	大企業	計
件数	146 (139)	26 (26)	172 (165)
割合 (%)	84.9 (85.2)	15.1 (14.8)	100 (100)



④ 業種別利用状況

単位：件 ※( )は前年度

業 種	大 展 示 場			小 展 示 場					合 計
	北館	南館	小計	第 1	第 2	第 3	レセ プ	小計	
農林水産・食品等	5	0	5(4)	2	2	1	0	5(2)	10(6)
産業機械・精密機械	3	0	3(5)	1	0	3	0	4(2)	7(7)
建築・住宅・資材	14	4	18(19)	7	10	9	6	32(25)	50(44)
医療・福祉・美容	8	2	10(20)	21	4	9	7	41(46)	51(66)
家具・雑具・仏壇等	2	1	3(2)	2	2	6	3	13(8)	16(10)
交通・車両・運輸	6	0	6(6)	2	1	1	1	5(0)	11(6)
家 電	2	0	2(3)	0	0	0	1	1(0)	3(3)
システム・OA・ ソリューション	0	0	0(1)	1	0	1	1	3(2)	3(1)
情報・通信・映像	0	0	0(1)	1	0	0	0	1(0)	1(1)
物流・商社・店舗	14	0	14(23)	2	4	4	5	15(14)	37(40)
衣料・呉服・宝飾等	0	0	0(1)	5	4	1	2	12(13)	14(12)
スポーツ用品	1	0	1(1)	2	1	2	0	5(4)	5(4)
家庭雑貨・文具	0	0	0(0)	0	1	0	0	1(1)	1(2)
文化メディア・マスコミ	1	0	1(0)	1	2	1	4	8(10)	10(10)
趣味・娯楽・ペッ ト・プラモデル	17	2	19(20)	8	4	5	2	19(4)	24(15)
行 政	1	0	1(8)	3	1	2	0	6(5)	13(8)
学校・教育	8	1	9(13)	1	2	1	2	6(16)	29(25)
その他	5	1	6(4)	5	5	9	7	26(13)	17(10)
合 計	87	11	98(131)	64	43	55	41	203(128)	301(296)

### ◇会議室の利用状況

会議室の利用のうち中央棟会議室では、新型コロナ対策による使用制限等により、会議室9室の利用日数の合計は1,433日であり、前年度1,598日に比べ165日減少した。

また、利用率は5.1ポイント減少し、44.3%となった。

※利用率＝使用日数÷（365－休館日数）

西館会議室は、静岡市スポーツ協会及び静岡技能協会の事務所使用により、引き続き年間を通して貸与した。

<中央棟>

( )は前年度

会議室	401	402	403	404	405	406	407	408	409	計
日数	175 (167)	176 (167)	182 (167)	154 (231)	157 (229)	122 (154)	130 (157)	207 (216)	130 (110)	1,433 (1,598)
利用率 (%)	48.7 (46.5)	49.0 (46.5)	50.7 (46.5)	42.9 (64.3)	43.7 (63.8)	34.0 (42.9)	36.2 (43.7)	57.7 (60.2)	36.2 (30.6)	44.3 (49.4)

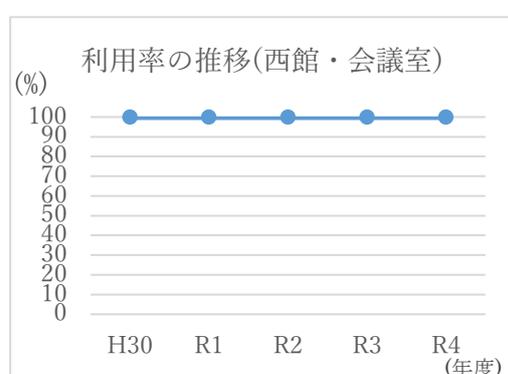
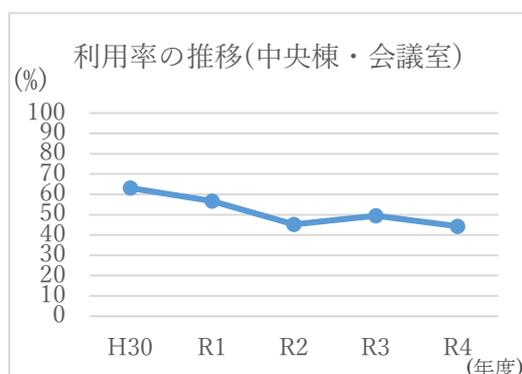
※休館日：12/29～1/3

<西館>

( )は前年度

会議室	201	202	203	計
日数	359 (359)	359 (359)	359 (359)	1,077 (1,077)
利用率 (%)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 (100)

※休館日：12/29～1/3

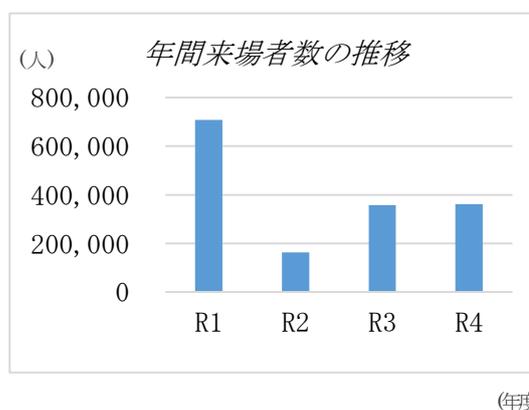


### ◇年間来場者数

ツインメッセ静岡の年間来場者数は、催事開催が戻りつつあったが、新型コロナ対策として参加人数の上限を設けたこともあり、前年度と比較して3,418人増加し、361,372人となった。

・年間来場者数 ※( )は前年度

361,372人 (357,954人)



(年度)

◇ 組織構成

(1) 役員 [R5. 3. 31 現在] ( )は前年度

理事	評議員	監事	計
10人 (10人)	8人 (8人)	2人 (2人)	20人 (20人)

(2) 事務局 [R5. 3. 31 現在] ( )は前年度

職員数 29人(31人)

◆内訳：事務局長 1 (1) 課長 3 (3) 参事 2 (5)

センター長兼プロジェクトマネージャー 1 (1) 主幹 3 (2) 副主幹 2 (3) 主任 5 (4)

主事 0 (1) 嘱託 7 (7) 非常勤 5 (4)

